

平成 30 年度前期 学生を対象とした授業評価アンケート結果

1. 概要

授業内容の精選・改善により本学全体の教育の質の向上を図る目的で、学生を対象とした授業評価アンケートを実施した。対象科目は平成 30 年度前期に開講した科目のうち、実習科目及び一部の演習科目を除いた 27 科目であり、アンケート内容と結果を公開する。

2. 対象科目：27 科目

	1 年生	2 年生
基礎科目 (9 科目)	探求の基礎、情報処理、対人コミュニケーション、人間と心理、地域の文化、暮らしの科学	英語Ⅱ、家族という社会、憲法
専門基礎科目 (8 科目)	自然科学、環境生態学、生化学、形態機能学 (解剖学)、形態機能学 (生理学)、ヘルスアセスメント	疾病治療論Ⅱ、臨床栄養学
専門科目 (10 科目)	看護学概論、基礎看護援助論	看護倫理、療養援助技術論、看護過程論、成人看護援助論、老年看護援助論、母性看護学概論、小児看護学概論、精神看護学概論

3. 実施方法

1) 学生を対象とした授業評価アンケート (別紙 1 の 2)

(1) 実施日時

各科目の授業最終回の終了 5 分前 (期末試験の前)

(2) 内容

- ① 学生自身の取り組み (授業に臨む姿勢や態度、自己学習、授業を受けるマナーなど) 4 項目
- ② 授業の内容 (量、難易度、満足感など) 6 項目
- ③ 授業の技法 (教員の話し方、教材や板書の使い方、資料の活用など) 6 項目
- ④ 総合評価 (教員の熱意、到達目標の達成具合、授業に対する満足感など) 4 項目
- ⑤ この授業を履修してよかった点とその理由 (自由記述)

⑥ この授業を履修して改善してほしい点とその理由（自由記述）

※ ①～④については4段階評定（4：はい、1：いいえ、その中間に2と3を設ける）で回答を求めた。点数が高い方が評価も高い。

※ 実施にあたり、アンケートの目的、結果は統計処理により個人の匿名性が保たれること、答えたくない内容には答えなくてもよいことを説明し、アンケートへの回答をもってこれらの内容に同意したものと判断した。また一教員に対して授業内容とは関係のない、批判的もしくは中傷ともとれる内容の記載が過去に見られたことから、自由記述の内容は担当教員に知らされるため、節度をもった書き方をするように説明を加えた（別紙1の1）。

(3) アンケートの配布・回答・回収はGoogle Formsで行った。

2) 授業評価アンケートに対する担当教員からの回答

(1) 方法

集計したアンケート結果（別紙3）と自由記述の内容を科目担当の教員に配布し、下記の内容で回答を依頼した。

(2) 回答内容（別紙2）

- ① 学生による授業評価アンケートからみた問題点・課題
- ② 受講している学生の状況と課題等
- ③ 次学期以降へ向けた取組み（改善策）
- ④ 授業評価アンケートに対する要望、意見

4. 結果

1) 授業評価アンケート（別紙3の1、3の2、3の3）

アンケートの回答率は61.0%～100.0%と、幅があった。中でも回答率61.0%の科目が3科目あった。回答率が低い要因として、授業が終了時刻ギリギリまで終わらなかったためアンケートに回答する時間がなかったことが考えられた。特に今回は次の授業への移動や、最終（5限目）の授業の場合、電車やバスの時刻が気になり、いずれも回答する余裕がなかったことが考えられ、今後に向けた対応が必要である。

(1) 学生自身の取組みについて

- ① 全体の平均は3.55であり、科目区分で比較すると専門基礎科目（3.59）、専門科目（3.56）、基礎科目（3.51）の順であった。
- ② 項目間を比較すると、予習・復習などの自己学習への取組みは3.34と最も評価が低く、授業マナーを守れているかという項目は3.70で最も評価が高かった。

(2) 授業の内容について

- ① 全体の平均は3.54であり、科目区分で比較すると基礎科目（3.64）、専門科目（3.53）、専門基礎科目（3.42）の順であった。

- ② 授業の難易度が適切かに関しては6項目中最も評価が低く(3.44)、3つの科目区分の中では専門基礎科目の評価が低かった(3.29)。
 - ③ 授業前後の課題の量に対する評価は、科目区分による差はほとんどなかった(全平均3.57、基礎科目3.69、専門基礎科目3.50、専門科目3.55)。
- (3) 授業の技法について
- ① 全体の平均は3.60であり、科目区分で比較すると基礎科目(3.70)、専門科目(3.55)、専門基礎科目(3.53)の順であった。
 - ② 項目間を比較すると、教室等の環境整備が最も高かった(全平均3.71、基礎科目3.77、専門基礎科目3.68、専門科目3.67)。
- (4) 総合評価
- ① 全体の平均は3.57であり、科目区分で比較すると基礎科目(3.65)、専門科目(3.55)、専門基礎科目(3.48)の順であった。
 - ② 教員の熱意に対する評価が最も高かった(全平均3.69、基礎科目3.76、専門科目3.66、専門基礎科目3.61)。
 - ③ 学生自身が到達目標を達成できたか、については評価が低かった(全平均3.46、基礎科目3.57、専門科目3.44、専門基礎科目3.36)。
- (5) 学年間の比較をすると(別紙3の2、3の3)
- ① 「1. 学生自身の取り組み(4項目)」全体の平均は1年生が3.51で2年生が3.55であった。項目で比較すると「授業の予習・復習などの自己学習をしましたか」で1年生の平均が3.19、2年生は3.48であった。また「学生としての役割(積極的な発言、協調性等)は果たせましたか」は、1年生の平均が3.46、2年生は3.56であった。全体平均とこの2項目は、2年生の評価が高かった。
 - ② 「2. 授業の内容について(6項目)」全体の平均は1年生が3.48で2年生が3.54であった。項目で比較すると「授業の難易度はあなたにとって適切でしたか」は、1年生の平均が3.38、2年生は3.49であった。「毎回の授業のねらいは明確でしたか」は、1年生の平均が3.48、2年生は3.62であった。「毎回の授業の内容は興味・関心が持てるものでしたか」は、1年生の平均が3.46、2年生は3.61であった。「授業を受け満足感がありましたか」は、1年生の平均が3.44、2年生は3.61であった。全体平均とこの4項目は、2年生の評価が高かった。
 - ③ 「3. 授業の技法について(6項目)」全体の平均は1年生が3.57で2年生が3.60であった。項目で比較すると「教室等の環境、整備は適切にされていたか」を除く5項目については、差は少ないものの2年生の評価が高かった。
 - ④ 「4. 総合評価(4項目)」全体の平均は1年生が3.53で2年生が3.57であった。どの項目も2年生の評価が高かった。

傾向として、全体的に2年生の評価が高かった。2年生の過去のデータを遡ると「授業の予習・復習などの自己学習をしましたか」については、1年次前期が3.21、1年次後期には3.35で今回が3.48であり、僅かずつではあるが値が上昇している。「学生としての役割（積極的な発言、協調性等）は果たせましたか」についても3.32（1年次前期）、3.52（1年次後期）、3.56（今回）と上昇している。これらの結果から2年生は1年生の学修体験を通して、予習や復習などの自己学習が習慣化し、大学生としての授業に臨む態度も定着したと考える。また「毎回の授業のねらいは明確でしたか」を遡ると、3.44（1年次前期）、3.57（1年次後期）、3.62（今回）と僅かずつではあるが上昇している。よって授業のねらい(目標)に関心をもってする出席する傾向が2年生の中に出てきたことが推察される。

2) 授業改善に向けた今後の課題に対する担当教員からの回答

(1) 受講している学生の状況と課題等

- ① 集中して授業に臨んでいた
- ② 概ね受講態度は良好であった
- ③ 遅刻（特に1限目の授業）や欠席が目立った
- ④ 寝ている学生が若干いる
- ⑤ 私語が目立った
- ⑥ まじめだが全体的に発言に消極的で受け身の学生が多い
- ⑦ 高校で修得している知識に差があり、この差が論理的思考力の差につながるのではないか
- ⑧ 学修の進捗状況に差がある
- ⑨ 予習・復習が効果的に行われていない
- ⑩ 双方向の授業展開ができなかった
- ⑪ グループ学習の前提である個人学習に差がある
- ⑫ グループワークで活発な意見交換が行われない
- ⑬ 到達目標に達していない学生がいる
- ⑭ 「与えられる」ことに慣れすぎ「自分で獲得する」という考え方に乏しい印象
- ⑮ 学習に時間をかけず、できるだけ短時間に「効率」よく知識を得たいという態度が気になる

(2) 学生による授業評価アンケートからみた問題点・課題（改善策）

複数の教員が担当する科目では教員により教え方や説明が異なるという意見があり、これに対して教員間での授業内容や教授法の擦り合わせが必要との回答が寄せられた。また内容が難しい評価に対して、学習進度と学生の理解度を考慮した授業内容の精選を検討するとの回答が寄せられた。さらに学生自身が授業の到

達目標に到達していないと捉えていることを問題点として挙げ、改善策を検討するという意見が寄せられた。

授業内容や技法に関する改善点では、見やすい資料の工夫や分かりやすい説明、話すスピードの工夫が挙げられていた。

教室や設備等の環境に対する評価は概ね良好であったが、授業中に一部の設備面での不具合が生じていた。これについては対策が既に講じられていた。

授業アンケートについて

本学では、授業の精選・改善を目的として各科目の最終回に授業評価アンケートを行っています。

授業内容についてどう感じたか、ご自身が授業に対してどのように取り組んだかを素直に教えてください。

このアンケートの回答は統計的に処理されます。本アンケートの回答により、個人が特定されたり、成績に関係したりすることはありません。また、本アンケートは本来の目的以外には使用しません。

自由記述欄に書かれた内容は、担当教員に伝えられます。節度を備え、授業の改善につながる建設的な意見になるようにしましょう。

【アンケートの実施方法】

アンケートは、Google Forms を用いて行います。

1. 総務課より送られたメールの URL からアンケートを開きます。
2. 各項目について4段階評価（4：はい⇔1：いいえ）の中から選択し、回答します。
3. アンケートの最後に、この授業の良かった点や改善点を記述する欄があります。今後の授業の改善のため、ご意見がありましたらお書きください。

岩手保健医療大学 総務課

授業評価アンケート

別紙1の2

【科目名: 大学で入力】【授業コード: 大学で入力】

この授業評価は、本学の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものです。学生の皆さんからのご意見を取り入れるためにご協力をお願いします。なお、このアンケートは成績評価等には一切影響ありません。

* 教員が複数で担当している場合は概ねの状況で判断し、特記事項については自由記述欄に記入してください。

以下の質問について、あてはまると思う番号を選択してください。

1. 学生自身の取り組み	はい			いいえ
1) 意欲的に授業に参加しましたか	4	3	2	1
2) 授業の予習・復習などの自己学習をしましたか	4	3	2	1
3) 学生としての役割(積極的な発言、協調性等)は果たせましたか	4	3	2	1
4) 授業を受けるマナー(遅刻、居眠り、私語、携帯電話等をしないこと)を守れましたか	4	3	2	1
2. 授業の内容について				
1) 授業の内容は量的に適切でしたか	4	3	2	1
2) 授業前後の課題の量は適切でしたか	4	3	2	1
3) 授業科目の難易度はあなたにとって適切でしたか	4	3	2	1
4) 毎回の授業のねらいは明確でしたか	4	3	2	1
5) 毎回の授業の内容は興味・関心が持てるものでしたか	4	3	2	1
6) 授業を受け満足感がありましたか	4	3	2	1
3. 授業の技法について				
1) 教員の話し方は適切でしたか	4	3	2	1
2) 教材(視聴覚教材を含む)や板書の使い方は適切でしたか	4	3	2	1
3) 授業のテキストや資料の活用は適切でしたか	4	3	2	1
4) 課題やレポートと授業内容の関係は適切でしたか	4	3	2	1
5) 発言や質問の機会は適切でしたか	4	3	2	1
6) 教室等の環境、整備は適切にされていましたか	4	3	2	1
4. 総合評価				

1) 教員の熱意を感じられましたか	4	3	2	1
2) あなたはこの授業科目の到達目標を達成できたと思いますか	4	3	2	1
3) この授業科目で得たものは多かったと思いますか	4	3	2	1
4) 総合的に考えてこの授業科目に満足できましたか?	4	3	2	1

この授業科目を履修して、よかったと思う点を、その理由とともに書いてください。

この授業科目を履修して、今後改善してほしいと思う点を、その理由とともに書いてください。

ご協力ありがとうございました。

授業評価に対する回答票

授業科目名：		授業コード：	
担当教員氏名			
開講年度・時期	平成	年度	前期・後期・通年（どれか1つを囲む）
1. 学生による授業評価アンケートからみた問題点・課題			
2. 受講している学生の状況と課題等			
3. 次学期以降へ向けた取組み（改善策）			
4. 授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等がございましたらご記入願います			

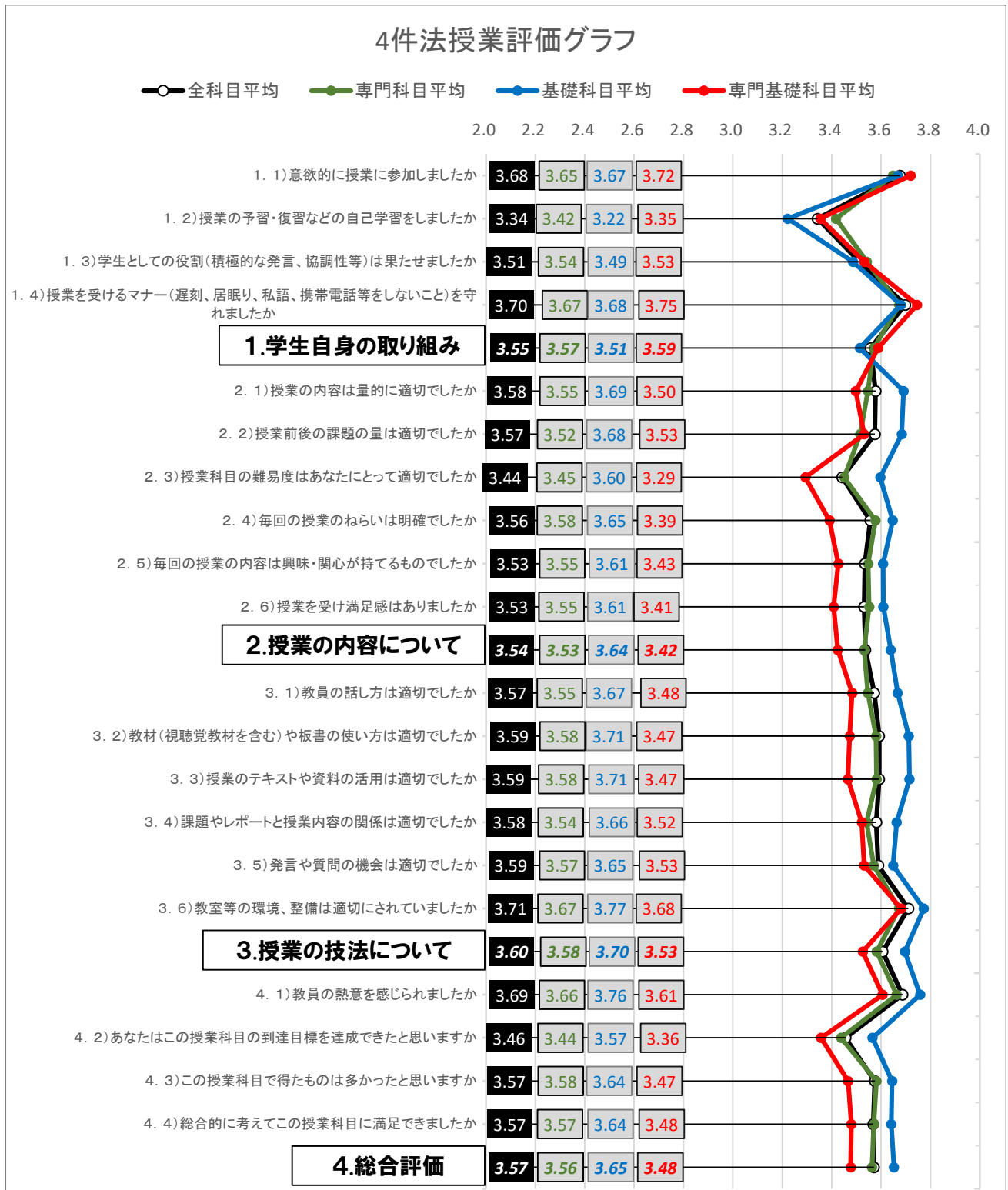
平成 年 月 日までにご返答願います。
ご回答ありがとうございました。

授業評価アンケートまとめ

【全学年】

授業評価対象科目数：27

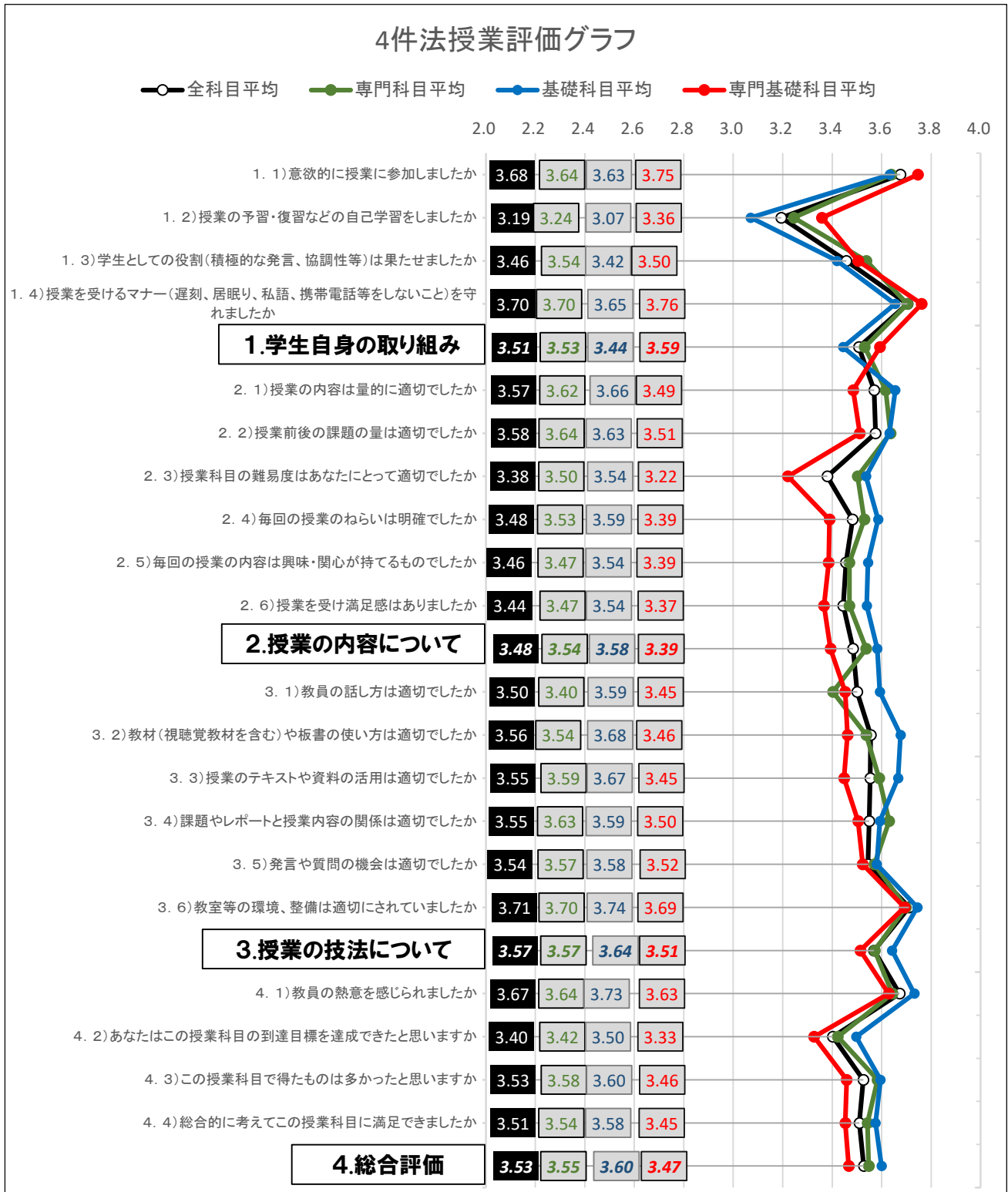
基礎科目数：9 専門基礎科目数：8 専門科目数：10



【1 学年】

授業評価対象科目数：14

基礎科目数：6 専門基礎科目数：6 専門科目数：2



【2 学年】

授業評価対象科目数：13

基礎科目数：3 専門基礎科目数：2 専門科目数：8

